

校長室より

「二松から飛翔へ」

二松学会大学附属高等学校
校長 鶴飼教之

授業参観より

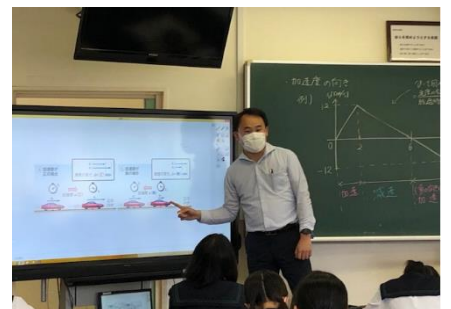
4月22日（金）から授業参観を始めたことは、すでにお伝えした通りです。その中から授業の様子を少し紹介しましょう。

どの授業も先生方が丁寧に指導に当たられていることは言うまでもありません。「授業を大切に！」ということは、まず、授業が始業のチャイムと同時に始まっているということ。これは例外なくすべての先生が実践をされています。廊下でチャイムが鳴るのを待ち構えている先生もいれば、休み時間中に教室に入り、生徒とのコミュニケーションをとっている先生、そして、ICT機器を使用するための準備に取り掛かる先生、中には授業の目標や単元名を黒板に書き始める先生など、まさに授業ファーストです。

また、対話のある授業を進めている先生が多く、短時間でのペア・グループワークや発表、周囲の生徒同士の学びあい、教えあいが行われている授業もありました。例え話し合いが行われていなくても、皆さんの頭の中がフル回転している授業もあります。先生の発問や問いかけに皆さんの脳が反応しているのがよく分かります。私は授業開始時、教室後方にいますが、途中から決まって教室の前方に移動します。先生と同じ視点から皆さんの様子を見て、顔があがっているか？思考力を働かせているかを確認します。多くの皆さんの脳が活性化しているのが見て取れます。

さらに、電子黒板やパワーポイント、iPadを活用した授業では、情報が瞬時に共有化され、繰り返し学習が可能となり、思考が可視化されます。学習形態も一斉学習から個別・協同学習へとバリエーションが広がるなどより主体的な学習が促されるでしょう。

いずれにしても、「学習の基本は授業にあり」です。



いよいよ開始 『Nisho Weekend Column』

思考力・判断力・表現力を身に付けることはこれからの社会で必須です。これらの力を育むために新聞のコラムを教材とする確認テストを実施しています。

GW狭間の5月7日（土）に第1回が実施されました。全学年共通の問題で、朝のSHR前に行われました。初回は、タイムリーな憲法記念日にちなんだ出題。漢字の読み書き、歴史や政治経済、そして自身の考えを示す問題など多岐にわたっています。

日頃から新聞に目を通し、時事問題に関心を持ちたいものですね。問題に取り組む姿は皆、真剣です。頑張ってください！！

